



### 令和8年度の重点実施事項

#### 家畜伝染病の発生予防とまん延防止体制の強化

- ・ 鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病の発生を予防するため、家畜の所有者に飼養衛生管理基準遵守の徹底を図ります。
- ・ 豚熱ワクチンの円滑な接種および免疫付与状況等の確認を行います。
- ・ 万一の発生に備え、防疫計画の再点検、関係機関との連携・協力並びに防疫訓練等を実施することにより、危機管理体制とまん延防止体制の強化を図ります。

#### 畜産経営の生産性向上及びコスト削減

- ・ 生産性を阻害する疾病について検査等を実施し、その結果に基づく技術指導により、衛生対策の改善・高度化やコスト低減を図ります。
- ・ 季節環境に応じた飼養管理を徹底することにより、繁殖成績及び乳量・増体成績の維持向上を図ります。

### 韓国で9か月ぶりに口蹄疫が発生！！

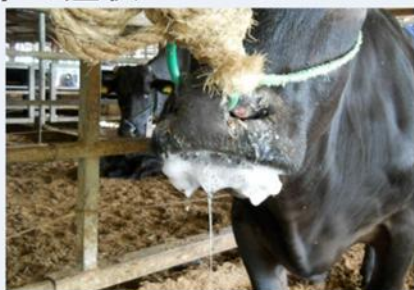
- ・ 1月30日、韓国の仁川広域市の牛飼養農場で口蹄疫(O型)が発生し、2月には京畿道高陽市の牛飼養農場でも2件の発生が確認されました。空港や港での検疫体制は強化されているものの、国内への侵入リスクは極めて高い状況が続いております。
- ・ 偶蹄家畜(牛・豚・緬山羊)の飼養者は、飼養衛生管理基準を遵守し、発生予防の徹底をお願いします。

#### 疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。  
<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

～牛の症状～

写真:宮崎県提供



上顎口唇潰瘍

写真:動物衛生研究部門提供



水疱が破れている

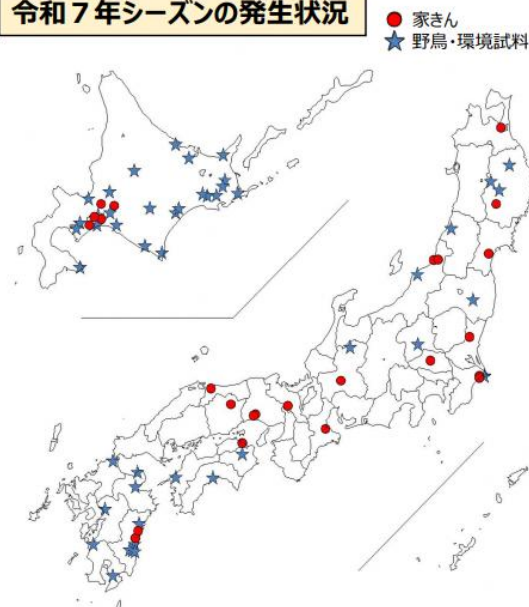
毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。

牛では、**1頭**のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

## 令和7年度 鳥インフルエンザ発生状況

- ・令和7年度シーズンは、家きんでは10月22日に北海道で1例目が確認され、最新発生(4月22日)時点で15道県24事例、約576万羽が防疫措置の対象となりました。
- ・新潟県においても11月4日と9日に胎内市の採卵養鶏場で連続して発生し、合計約91万羽を対象とした防疫措置が行われました。
- ・前シーズンの51件、約932万羽より件数と羽数は減少したものの、大規模農場や既発農場での発生が多い傾向でした。
- ・国は、①大規模農場での「分割管理導入の検討」と、②発生・まん延リスクの高い地域を大臣指定地域(県内2地域を含む全44地域)に指定し、地域内の農場に対して消毒薬の備蓄や野鳥誘引防止対策等の実施を義務付けています。

令和7年シーズンの発生状況



(農林水産省HPより)

## 今一度、野生イノシシ侵入防止の徹底を！！

～ 🐾の動きが活発になるシーズンです～

### ○ 早急な防護柵等の設置と再点検

- ・ 既存の柵に加え、電気柵をプラスするとより効果的！
- ・ 柵等に破損がないか再確認

### ○ 出入り口の管理

- ・ 人や車両の消毒を徹底し、ウイルスの侵入を防止



## 《4月から新体制となりました》

新体制のもと、家畜伝染病の発生予防、生産性の向上並びに、畜産物の安全性の確保に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

※ 転入者

所長・次長	課	課長	副参事	主査	獣医師・主事
所長 太田洋一	企画指導課	次長兼務	権田寛子*	佐藤彩子 今井杏子	先山英伶奈* 櫻井裕子
次長 篠川 温	防疫課	竹内智胤*	鈴木一徳 中村正明*	安野僚太郎*	

転出者：佐藤義政（妙法育成牧場へ）、佐藤香代子（下越家保へ）、漆原麻純（佐渡支所へ）  
市川雄紀（上越家保へ）、植木将之（中央家保へ）